

## コスメディ製薬、ドクターシーラボへ 「WHITE377」含有の「マイクロヒーラ」をOEM供給

京都薬科大学発ベンチャーのコスメディ製薬(CosMED:京都市、神山文男社長)は今秋から、「マイクロニードル」技術を用いて開発したスポットケア化粧品「マイクロヒーラ(MicroHyal)」を、化粧品事業などを手がけるドクターシーラボに本格的にOEM(相手先ブランド生産)供給している。そのドクターシーラボでは、「夫婦の日」の2009年11月22日から、ブライトニング(美白)成分「WHITE377」などを「マイクロヒーラ」に配合した専用パッチ「スーパーホワイト377 マイクロパッチ」(8枚入り:税込み6615円)を販売した。

CosMEDはTTS(Transdermal Therapeutic System)に関する研究成果を技術シーズに、2001年5月に設立されたバイオベンチャーで現在、(1)経皮吸収型医薬品(2)経皮吸収型化粧品(3)TTS用粘着性素材(4)TTS向け研究用装置——などの研究開発に取り組んでいる。



コスメディ製薬の権取締役(左)と  
神山社長(右)

同社が今回、OEM供給する「マイクロヒーラ」は、皮膚本来の成分である「ヒアルロン酸」と「コラーゲン」の結晶を、超微細加工技術を用いて「剣山」のように配列させたパッチ状の「マイクロニードル(皮膚への挿入の深さ10~600μm)」で、皮膚に密着させると(1)体温や皮膚の水分でマイクロメートル単位の先端部分(ヒアルロン酸とコラーゲン)が溶解し、(2)角質層に深く浸透して留まり、(3)含有剤が同時に放出され、皮膚の奥まで薬剤を確実に浸透させる新しい送達システム。

「マイクロヒーラ(マイクロニードル技術全体を意味する商標)はもともと医薬品向けに開発したものだが、シミやシワ、育毛ケアなどの化粧品向けにサイズやディメンジョンを最適化・微細化して製品化した」(CosMEDの神山社長)。

一方のドクターシーラボでは、(1)ヨーロッパアカマツの成分をもとに開発された新規のポリフェノール「WHITE377」(2)赤ワインに含まれるポリフェノールの一種「レスベラトロール」(3)フランス海岸松から抽出したポリフェノール「ピクノジェノール®」——を含有させている。特に「WHITE377」のブライトニング効果は、ハイドロキノンの2100倍といわれている。



ドクターシーラボから発売された「スーパーホワイト377 マイクロパッチ」(8枚入り:税込み6615円)

### MENU

- ▶ [先端技術事業化サイトについて](#)
  - ▶ [先端技術ベンチャー情報提供サービス](#)
  - ▶ [お問い合わせ](#)
- メールマガジン
- ▶ [配信・登録](#)
  - ▶ [バックナンバー](#)
  - ▶ [広告のお問い合わせ](#)
  - ▶ [セミナーのお知らせ](#)

### 著者紹介 PROFILE

#### Webマスター

西本一郎  
日経BP社  
ベンチャー・シーズチーム マネージャー  
産学官連携担当



「スーパーホワイト377 マイクロパッチ」の使用法をみると、(1)夜のスキンケアの最後に、パッチを貼る(貼付部分に油分が残っている場合は、よく拭き取ってから使用する)(2)袋を開け、透明フィルムのオレンジ色部分を持ち、ケースからはがす(3)透明フィルムを付けた状態で、パッチを気になる部分に貼付する(4)付属のスティックで、透明フィルムの上からパッチを押さえて密着させる(5)肌に対して垂直方向に、約3秒間スティックで押し、そのまま1晩貼って、翌朝にはがす——という手順になっている。

「マイクロヒーラは世界初の整形コスメであり、本来は注射でしか注入できない高分子のヒアルロン酸を超微細加工技術を用いて皮膚に浸透させることができ、シワ伸ばし効果も高い。当社でマイクロニードルの量産技術を確立したことで製品化に漕ぎ着けた。ドクターシーラボへのOEM供給は2008年秋のアドバンスト・メディカル・ケア(AMC:東京・渋谷、古川哲也社長)に続く第2弾となる。マイクロヒーラの最新タイプでは、ユーザーの要望に応じて、当日ではなく前の晩から使用できるようにした」(CosMEDの権英淑取締役)。

CosMEDでは、この化粧品向け「マイクロヒーラ」のヒット(需要拡大)により、2010年4月期は売上高で約3億円を見込んでいる。また、同社は2009年9月に京都市の「ベンチャー企業目利き委員会」から「Aランク企業」の認定を受けたばかりで、上限2億円の融資や固定資産税免除などの優遇措置を受けられる。

#### ※マイクロニードル

経皮吸収治療システム(TTS)の1つで、大きさ数百ミクロンの微細針の表面または針中に薬剤を含有させ、皮膚に刺し薬剤を体内に導入する。一般にはシリカや金属、生分解合成高分子などが材料に使用されている。CosMEDのマイクロニードルは、針そのものが皮膚本来の成分であるヒアルロン酸やコラーゲンから成っていることから、同社では安全性が高いとしている。ヒアルロン酸の中に、ホルモンやビタミンC誘導体などの有価成分を溶解させて針を作ると、その針は皮膚に刺入後、すぐに膨潤・溶解して薬剤を放出する。針先サイズ(先端直径)は20 $\mu$ m以下で、針長さは200~800 $\mu$ m。針数が100本以上/cm<sup>2</sup>で、パッチサイズは0.5~1cm<sup>2</sup>。

#### ■コスメディ製薬(株)

所在地:本社・研究室 〒602-0841京都市上京区梶井町448-5

Tel:075-950-1510/Fax:075-950-1512

代表者:代表取締役 神山 文男

(Wed, 25 Nov 2009)

Nikkei Business Publications, Inc. All rights reserved.